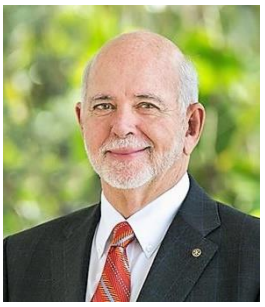
国際ロータリー第2790地区
The Rotary Club of Yachimata
八街ロータリークラブ週報
http://www.joy.hi-ho.ne.jp/yachimatarc/
例会場 八街商工会議所 3階 大ホール
毎週水曜日 12:30～13:30
電 話 043 - 443 - 3021
FAX 043 - 443 - 7221
創立 1966年(昭和41年)5月22日



2018-19年度
国際ロータリー会長
バリー・ラシン
East Nassau RC(バハマ)

会長 山本 和男 ・ 会長エレクト 増田 繁 ・ 副会長 木村 利晴 ・ 幹事 増田 繁

第53巻 第19号 通巻 第2543号 2019. 3. 27発行

八街神社移動例会

第2542回 2019年3月13日例会報告

【出席報告】 SAA 小澤 孝延会員

例会	出席計算会員数	出席	欠席	出席率%	MU	修正出席率%
3/ 13	30	28	2	93.33		
2/ 27	30	26	4	86.67	2	93.33

会員総数 31名
(名誉会員 4名 ・ 出席免除会員 5名)
通算出席率 82.84%
2/27メークアップ2名・荒木会員、泉水会員(理事会)

【会長挨拶】 会長 山本和男



こんにちは。本日は大野会員にお願いして八街神社での例会となりました。ご協力ありがとうございます。今年は親睦委員会が嗜好を凝らして法宣寺での例会や、八街神社での例会と変化をもたらした例会を考えて頂き楽しい例会作りの一貫ではなかったのではと思います。

この後、大野さんに神社の案内をして頂きいろんなことの説明をして頂きたいと思います。宜しくお願い致します。八街神社には私も毎年正月に商売繁盛、家内安全の祈祷をお願いに来ているのですが、大変御利益のある神社ではないかと思います。もし、八街神社に来られていない方がおられましたら是非祈祷して頂くことをお勧めします。 その際、祈祷料はいっぱい上げたほうが良いかと思います。

点 鐘 会長 山本 和男

ソ ン グ それでこそロータリー

会 場 八街神社



さて、事務局の松原さんが先週の土曜日に退院しました。思ったより早く良くなり良かったです。日に日に良くなっているとのことです。来週の例会からは出て来られるそうです。しかし完治するには後4カ月位はかかるようです。無理はせずに早く良くなって欲しいものです。しばらく、負担をかけないように皆さん気をつけていきましょう。とりあえず、今後休みの連絡は松原さんに電話やメールをして頂いて良いとのことですので宜しくお願い致します。

【幹事報告】　　幹事　増田　繁



1. 次期会長幹事会のご案内
   3月12日　出席：増田、笹川会員
   ラディソンホテル成田
   幹事クラブ：富里RC
   議題：今後のガバナー補佐（AG）の選出方法について
   ＊現在の各クラブの輪番制から各クラブより推薦 ⇒ 地区指名委員会 ⇒ ガバナーノミニーが決定

2. 4月20日（土）地区研修協議会
   会場　アパホテル東京ベイ幕張
   10：00点鐘　出席者は8：30商工会議所出発

3. 次年度クラブ役員・理事会・委員会構成（案）宜しくお願いします。今後若干の変更あり

4. 参加・不参加の可否を求めています
   ①5/20（月）地区記念大会ゴルフ大会 久能CC
   ②4/3（水）夜間例会「五番」点鐘18：00
   ③5/11（土）親睦家族会　神奈川県大山詣で

5. 第2790地区次期幹事団　平野雅敏会員に委嘱状伝達

6. 千葉黎明高校より入学式招待状、卒業式出席の礼状を受領

【卓　　話】　　大野 眞里会員



～八街神社由緒～
御祭神
須佐之男命（スサノオノミコト）　御神徳　天照皇大神の弟神でヤマタノオロチを退治し勇猛果敢で優しい御性格により厄を払い除ける神様として仰がれています。

稲田姫命（イナダヒメノミコト）御神徳須佐之男命と結ばれたことで「縁結び」「家内安全」のご神徳があります。

大己貴命（オオナムジノミコト）御神徳別名は大国主命で「商売繁盛」のご神徳があると仰がれています。

由　緒
　明治3年4月明治維新政府は救民対策事業として武士など東京の難民窮民を下総地区に広がる旧江戸幕府の野馬放牧であった一帯の未開発に移住させ開墾が進められたが、風雨、寒暑に耐え開墾の労苦は筆舌に絶する苦難の道を辿ることとなり挫折する者も多きに達したが、開墾が一区切りついた明治5年5月、新政府は努力と忍耐による開墾の成果を喜び、その功績を称え8番目の開墾地から、その地名を「八街村」と命名し印旛県管下（後千葉県）に編入しました。
　この間当地に八街神社が鎮座するに至る道程は、開墾者一同による御分霊の熱い希望を受け

開墾会社頭取の西村郡司氏が開墾関係者総意のもとに、出身地の武蔵一宮「氷川神社」のご分霊を戴き、明治6年11月23日官許を得て、西村の土地に八街村の産土の神として開墾の苦難を癒す拠り所としてお祀りしたのが始まりです。

移住して間もないこともあり、遷式祭儀が出来ないまま年月が経ち、疎遠を恐れた村長大久保正雄、氏子総代西村郡司等は、荒れた荒野の昔を偲び、今日厳然として豊かな田畑となったのは移住して日が浅いと雖も産土の神に支えられた大勢の信心深い勤勉な村民の力のお陰であると、明治12年10月、新しい社殿（現在地）で武蔵一宮主典権大講義東角井福臣、少講義磯部重浪等により社殿で遷霊式を修めました。



その後西村家から鎮座地等周辺11町歩（約109.087㎡）の寄進を受けたのを機に、村民、近郷の人達の奉賛により社殿を改築し明治27年11月竣功遷座しました。

平成14年の台風による暴風雨のため社殿周辺の大杉が多数倒木、建立から100年余が経過し老朽化が進んだ社殿を直撃し甚大な被害を蒙りました。

宮司大野眞里はこれを機に社殿の改築、境内整備を決断し、役員・総代、氏子区代表に諮り、平成15年7月社殿改築事業奉賛会を立上げ、3か年計画により事業を進め、敬神の念厚い氏子崇敬者多数の力強い支援を受け、計画を遥かに超える諸事業を行うに至り、平成18年9月遷座祭、同年11月3日竣功奉祝祭を斎行いたしました。



境内整備、付帯工事も順調に進捗し平成19年本事業の完成により境内は面目を一新しました。

現在は一区、二区、三区、四区、五区、六区、七区、大東区、夕日丘区、西林区、真井原区まで市内のうち11区の鎮守様として祀られ、年3回の祭典を執り行い、祭事当番として一区から六区に大東区を加えた七地区が大年番と称して1年毎の輪番で行っております。



なお、大年番地区が11月3日の祭礼に神輿渡御を行います。

境内面積　3,645坪（約12,026㎡）
主な祭礼日　祈年祭：2月17日
例祭：11月3日　　新嘗祭：11月23日



八街神社







広報･公共イメージ向上委員会　･高橋 宏一・川崎 尭信 ･鈴木 慶夫